

多くの皆様のご来館ありがとうございました



開館3年目を迎えたカワセミハウスには2018年度（2018年4月～2019年3月）も多くの方々に来館いただきました。前年度（2017年度）と比較しながら2018年度の利用状況をお知らせします。

カワセミハウスの事業の策定や運営を担う「カワセミハウス協議会」は、2018年度に新たに7団体が参加し現在45団体となりました。

1年間の開館日数は前年と同じ307日、入口に設置したセンサーカウンター（センサー前を2度通過すると1カウント）による入出数は約11万回で前年度より6%ほど増えました。利用者数の多い月は夏休みをはさんだ7～10月で各月とも1万回を超えています。3室ある

集会室の利用者数は前年度より13%増え延べ約12,000人、利用した団体（個人含む）は10%増の延べ481団体、集会室の使用回数は840回で7%増、集会室の稼働率は46%を超えました。

また、カワセミハウスを会場として様々なイベントや行事が行なわれ多くの方々に賑わいました。地域の自治会や子ども会が主催する7月の七夕祭り、8月の夏祭り、10月のオクトーバーフェストや芋煮会、年末12月のもちつき大会などの季節の催し物や、市内の環境団体や各種サークル、ボランティアグループなどが主催するセミナーや講演会、展示会、サロン、環境情報の発信基地としてカワセミハウスが主催する環境セミナーや写真展などを開催したほか、黒川清流公園の散策やまち歩きの立ち寄りスポットとして来館される方も増え、毎月開催される高齢者の方を中心に三世代が交流する「黒川かわせみサロン」、地域の絆を強めハウスに集う人々の親睦を深める「オクトーバーフェスト」などは大勢の方々が参加され、カワセミハウスならではのイベントとして定着してきています。

カワセミハウスは、子どもから高齢者の方まで誰もが居やすい居場所づくりを目指しています。カワセミハウスが皆さんにとって家庭でもない、学校でもない、職場でもない居心地の良い「第3の居場所」となることができるようスタッフ一同頑張っています。

平成30年度アートディレクション事業発表会が開催されました

3月2日（土）14:00～16:00、平成30年度アートディレクション事業「多摩の木でつくるみんなの壁画プロジェクト」の発表会がカワセミハウスで開催されました。完成した壁画～こもれびの中で～は、昨年創作した絵本や黒川の身近な自然をテーマに、蟹江杏さんと公募に応じた市内の中・高生6名が8回のワークショップを重ね、多摩産材の板13枚（すぎ板6枚、ひのき板7枚）にウッドバーナーで描かれたものです。



カワセミハウスにお越しの際には是非ご覧ください

当日は53名が出席し、市長の挨拶、壁画創作の経過報告、蟹江さんや中・高生と市長を交えた座談会などが行なわれ、楽しい発表会となりました。また、絵本から生まれたキャラクター「こもれびくん」シールが貼られたカワセミハウスの円形サイン（看板）が完成したことも報告されました。



座談会の様子

平成29年度のアートディレクション事業で創作した絵本「ぼくのまちにはもりがある」からカワセミハウスのキャラクターが誕生しました！

はじめまして！
「こもれびくん」です。
よろしくお願ひします。



日野市環境フェアが開催されました



大坪市長の挨拶

平成31年2月16日（土）にイオンモール多摩平の森イオンホールにて日野市環境フェアが開催されました。

第1部では第4回環境かるた大会チーム戦優勝チームである日野第五小学校「5!GO!GO!」チームによる省エネ取り組み発表や、エコアラ・エコクマが子供たちに直接省エネについて伝える省エネ啓発ショーを行なったほか、目玉プログラムである「日野市環境かるた2」標語発表では入選者の小学生38名中36名が参加し、新しい環境かるたの標語を発表しました。

第2部では、省エネアンケートの実施や省エネ塗り絵缶バッジの作成、カブトムシの幼虫プレゼントを行ない、子供たちをターゲットに省エネの

大切さ、自然・命の大切さを伝えました。

また、今年では東京都環境公社によるオリジナルブローチ作りブース、小水力発電を実現する市民の会による小水力発電体験ブースなど、環境関連の外部団体の出展も取り入れ例年になく盛り上がりを見せました。

第1部、第2部を合わせて、約350名もの方が来場され、省エネや自然環境の大切さを考えていただく機会となりました。

今後も引き続き、ふだん着事業を通して「青い地球をいつまでも」次の世代

へ引き継ぐことができるよう地球温暖化防止の普及啓発活動を行なっていきます。



2018年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました

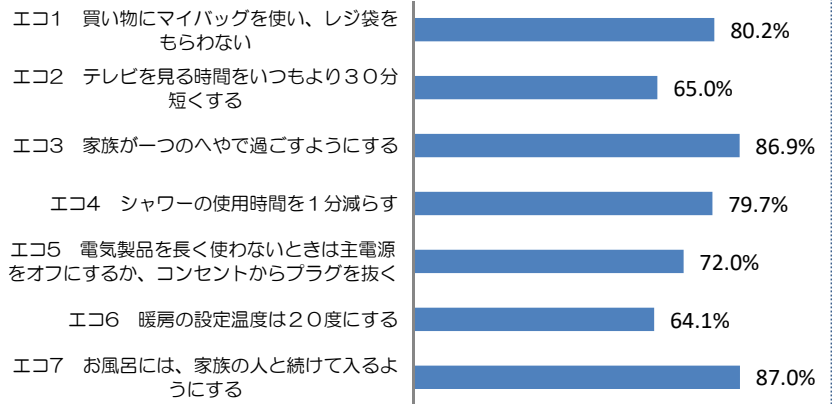


今回の調査は昨年12月8日（土）の1日間の家庭でのエコ活動について調べました。市内の小学生の79%にあたる7,259人が参加、下記の7つのエコ活動の実施状況を聞きました。実施率をみると、最も高かったのはエコ7「お風呂には、家族の人と続けて入るようにする」で87.0%、エコ3「家族が一つのへやで過ごすようにする」86.9%とほぼ同率で続きます。最も低かったのはエコ6「暖房の設定温度は20度にする」で64.1%でした。まだ暖房を使っていないというご家庭も多かったようです。今回のアンケートでは、エコ1「買い物にマイバッグを使い、レジ袋を使わない」が80.2%となり冬の「エコキング」としては初めて80%を超えました。

7つのエコ活動の実施者数にそれぞれの活動で削減されるCO₂の量をかけて算出した12月8日1日間で削減されたCO₂の総量の推計は全小学校計で2,740kg、テニスコート約11面分※の森林が1年間に吸収するCO₂の量に相当します。もし12月8日のエコ活動を1年間365日続けるとすると、テニスコート約4,010面分の森林が1年間に吸収するCO₂が削減されることとなります。

日々の暮らしの中での小さなエコ活動の積み重ねがCO₂の削減に大きな効果があり、ひいては地球温暖化の防止にもつながります。

※テニスコート1面（約500㎡）当たりの森林が1年間に吸収するCO₂の量250kgで換算



2018年度「エコキング冬」のアンケートでは、同時に保護者の方々を対象とした「地球温暖化と省エネに関するアンケート」も実施し、地球温暖化への関心度の変化や暮らしの中での心配なこと、省エネ意識の変化についてお聞きしました。アンケートに答えていただいた保護者の方は3,898人でした。

●地球温暖化の影響と思われる異常気象が目立つ中、「地球温暖化への関心が以前より高まった」と答えた方は94%でした。

●温暖化の影響で暮らしの中で「心配なことがある」と答えた方は98%。その具体的な内容をみると、最も多かったのは「猛暑」、次いで多かったのは「異常気象」「大型台風など自然災害の増加」でした。そのほかにも「熱中症」「農作物や水産物の不作・不漁」「食品や野菜の値上がり」「体調管理が大変・体調崩す」「電気代・光熱費値上がり」「洪水・川の氾濫」などがあげられました。また「どこまで気温があがるのか」「子どもの外遊びや運動」「水不足」「紫外線」「生態系の変化」などが心配という方もいます。「子どもの将来」「人類や地球の将来」など現在の生活がこれからも続けられるかという大きな不安もあげられました。

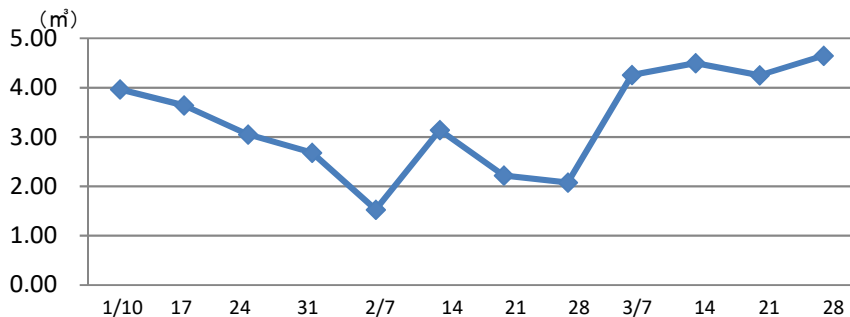
●ふだんの暮らしで「省エネを意識している」と答えた方は89%、そして「省エネを意識している」と答えた方のうち80%の方が「温暖化の影響やその対策がいわれる中、省エネ意識が以前より強くなった」と答えています。

ふだんの暮らしにも温暖化の影響が様々な面で感じられるようになってきている様子が見えがえします。



黒川清流公園の水路での湧水量測定結果（2019年1月～3月）

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量測定を実施しています。水路幅、水深、流速を測定し、これらのデータをもとに1秒当たりの流量を算出します。また水温や電気伝導率も測定、湧水量に大きな影響を与える降水量についても、前回測定日から今回測定日前日までの7日間の八王子地区降水量を参考にしています。

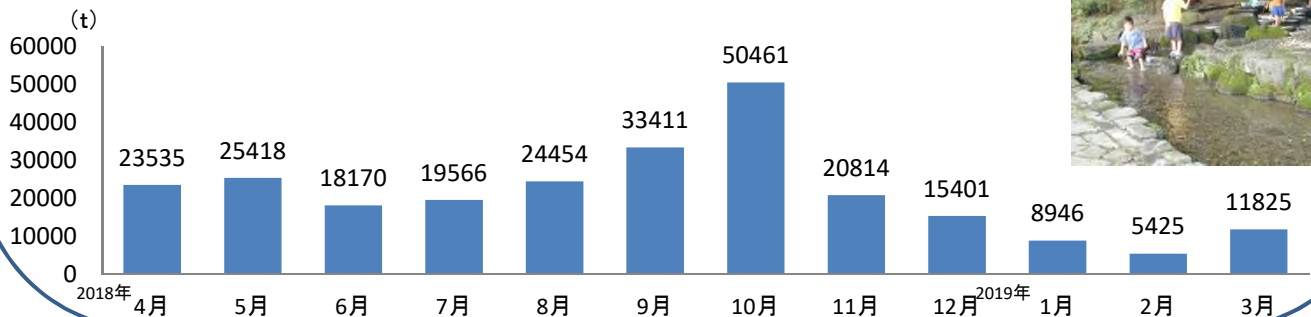


1月～3月の月毎の
平均流量、月間推定流量、月間降水量

測定月	1月	2月	3月
平均流量(l/秒)	3.3	2.2	4.4
月間推定流量(t)	8,946	5,425	11,825
月間降水量(mm)	0	8	151

2018年4月～2019年3月の1年間のあずまや池出口の水路で測定した月間推定流量の推移

- ・2月の月間推定流量は5,425 tで測定を始めた2017年4月以降で最少となりました。
- ・2018年度合計の推定流量は257,426 tで2017年度より90,000 tほど減少しました。



みんなの環境セミナー「親子で楽しむ野鳥かんさつ」

1月27日（日）開催、講師は日野の自然を守る会金子凱彦氏と自然観察指導員小久保雅之氏、カワセミハウス村岡です。参加者は個人と親子6組の15名でした。カワセミハウスに集まり野鳥観察のコツや双眼鏡の使い方、開催中の野鳥写真展で野鳥の特徴などのレクチャーを受け、黒川清流公園で野鳥を観察しました。アトリやコゲラ、マガモなど10種類を超える野鳥が観察できました。



カワセミハウス写真展「日野の野鳥たち」

1月23日（水）～30日（水）、27日の環境セミナー「親子で楽しむ野鳥かんさつ」と連動して開催、日野市で見られる野鳥たちを、森や林、水辺、草原や畑、街の中の4つの場所で分類し、48枚の写真で紹介しました。見学に来られた方の中には写真をスマホで撮影している方や解説を熱心に読んでいる方もいました。

環境分科会の活動

見て聞いて知ろう・黒川シリーズ 「黒川清流公園のおかしからみらいへ」

2月2日（土）開催。講師は一ノ瀬正彰氏です。参加者は36名。黒川清流公園の周辺で成長された一ノ瀬氏より、昔のこの地域の自然や暮らし、その後の多摩平団地の建設による環境の変化についてお話がありました。開発により変貌しながらも現在に残された湧水のある環境の大切さについて、改めて考える場となりました。

つんで、つくって、たべよう！よもぎだんご

3月21日（木）、カワセミハウスの周辺でヨモギを摘んで、ハウスのキッチンで白玉粉を使ったよもぎ団子を作ってみんなで食べるイベントを開催しました。暖かい春の一日、参加者は子どもたちを含め15名、「初めての体験で楽しかった」「身の回りにこんなに食べられる草があって驚いた」「秋のきのこや木の実などを食べる企画を期待」といった声が寄せられました。

黒川自治会創立50周年 記念植樹式開催

3月23日（土）、黒川自治会創立50周年を記念して黒川自治会の会長や役員の方々が参加して植樹式が行われました。カワセミハウスの芝生広場北側に「関山」という種名の八重桜の若木が植えられました。お花見のできる日が待ち遠しいです。



4月後半～7月上旬に開催される主なイベント、行事の予定をお知らせします

3つの講座がスタートします

- ①第11期市民環境大学
5月9日(木)開校
- ②第15期雑木林ボランティア講座
5月18日(土)開講
- ③第2期黒川マイスター講座
5月24日(金)開講

*いずれの講座も講座生の募集は終了しました。

黒川かわせみサロン

- 第21回サロン 5月14日(火)
- 第22回サロン 6月4日(火)
- 第23回サロン 7月2日(火)

毎回14:00～16:00開催。参加費は100円です。日野市内にお住まいの高齢者の方を中心に、身体をほぐす体操をしたり、みんなで歌を歌ったり、お茶とお菓子でおしゃべりしたり、だれでも気軽に参加できる楽しいふれあいの場です。



どなたでも
どうぞ!

オオフタクサ引き抜き大会開催!

6月29日(土)10:00から緑湧会のメンバーの指導のもと、カワセミハウス裏側の土手の周辺に繁茂している特定外来種オオフタクサを引き抜きます。みなさんの参加をお待ちしています。

みんなの環境セミナー

● どうして消えちゃうの?

消えゆく田んぼで田植えと生きものさがし

6月8日(土)13:30～16:00開催。向島用水親水路を散策してせせらぎ農園まで行き田植体験をします。参加費200円、定員は親子15組、先着順です。5月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。



● 駅のツバメ

6月16日(日)9:30～12:00開催。毎年たくさんのツバメがやってくるJR豊田駅周辺でツバメの巣を観察し、ツバメにやさしいこの街の魅力を再発見しましょう。定員は15名、先着順です。5月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

● 黒川清流公園の夏を探そう!

7月4日(木)10:00～12:00開催。市民環境大学の公開講座です。初夏の黒川清流公園で湧水や雑木林の草花などを観察し、豊富な湧水の成り立ちや雑木林の大切さを楽しく学びます。定員は20名、先着順です。

6月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

環境分科会のイベント

● 水辺50選ガイドツアー「黒川水路」

6月1日(土)9:00～12:00開催。5月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

黒川子ども会主催のイベント

黒川子ども会創立39周年記念イベント 4月29日(月)
七夕まつり 7月7日(日)

2019年度アートディレクション事業がスタートします

2017年度にスタートしたアートディレクション事業第3弾となる2019年度の事業は、蟹江杏さんと一緒に中学生や高校生が協力して、豊かな日野の自然をテーマに大きなキャンバスに絵を描きます。一緒に作品を創ってみたいと思う市内の中高生の皆さん、募集は6月1日発行の広報「ひの」の予定です。

カワセミハウスのゴールデンウィーク開館予定

4月27日(土)から5月6日(月)のゴールデンウィークの間、カワセミハウスは全日通常通り開館します。みなさまのご利用お待ちしております。なお、ゴールデンウィーク明けの5月7日(火)と8日(水)は休館日となります。



《カワセミハウス施設概要》

開館時間: 9:00～21:30
休館日: 毎週月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合はその翌日)
情報発信ラウンジ: 環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース
オープンキッチン: IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備
集会室: 会議等で利用できる集会室3室(各室約30名収容)
可動式パーテーションを取り払い大きな部屋として使用可能
その他、授乳室、芝生広場もあります。

カワセミハウスは地域のコミュニティの場として集会室や情報発信ラウンジ等をご活用いただくことができます。

申請方法: 使用日の属する月の3か月前の1日(各月最初の開館日)から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出

*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

使用料: 集会室1・2・3とも	
午前(09:00～12:00)	300円
午後(13:00～17:00)	400円
夜間(18:00～21:30)	350円
全日(09:00～21:30)	1,050円

- *集会室は1室ごとの料金です。
- *環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。
- *集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1

Tel/fax: 042-581-1164

Eメール: kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp